

特定非営利活動法人
バイオマス北海道

2020年度
通常総会議案書



日時：2020年4月28日（火）

第1号議案 2019年度

事業報告および決算

2019年度の事業報告書

特定非営利活動法人バイオマス北海道

1 事業の成果

当法人の活動目的を達成するため、下記事業を中心に実施した。

- (1) バイオマス利活用を推進するための普及・啓発事業
- (2) バイオマス利活用を推進するための研究開発事業

2 事業の実施に関する事項

- (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
バイオマス 利活用を推 進するた めの普及・啓 発事業	○バイオマス利活用講座 の開催 第1回	(A) 2019年 10月24日(金) (B) 根室振興局庁舎 (根室市) (C) 3人	(D) 道内市町村 担当者、関係 団体等 (E) 14名	50
	○OHP運営	(A) 2019年4月1日～ 2020年3月31日ま で (B) 北海道大学 大学院工学研究 院 (札幌市) (C) 3人	(D) 会員 (E) 47名	0
バイオマス 利活用を推 進するた めの研究開発 事業	○北大寄附分野バイオマスコミュ ニティ・ランニング分野との連携 事業	(A) 2019年4月1日～ 2020年3月31日ま で (B) 北海道大学 大学院工学研究 院(札幌市) (C) 5人	(D) 道内市町村 (E) 10名	0

	○北海道バイオマスネットワーク会議との連携 ・北海道バイオマスネットワーク会議 事例報告・検討会への出席	(A)2019年7月25日 (B)北海道学術交流会館（札幌市） (C)5人	(D) 北海道バイオマスネットワーク会議会員など	0
その他バイオマス利活用を推進するために必要と認められる事業	○イベント補助 後援 ・バイオマスコミュニティプランニング分野 第2回セミナー ・バイオマスコミュニティプランニング分野 第1回シンポジウム ・バイオマスコミュニティプランニング分野 第3回セミナー ・バイオマスコミュニティプランニング分野 第4回セミナー及びバイオマスネットワークフォーラム2020	(A)2019年7月～2020年2月 (B)北海道大学(札幌市)・全国町村会館(東京都) (C)3人	(D) 市町村担当者、関連事業者、一般国民など (E)延べ330人	18
	○メルマガの発行	(A)2019年9月・2020年2月 (B)北海道大学大学院工学研究院（札幌市） (C)2人	会員47名	0
	○バイオマスカフェの開催 第1回・第2回	(A)2019年7月・2019年12月 (B)北海道大学大学院工学研究院（札幌市） (C)3人	(D)会員 (E)述べ25名	5
	○会員研修 (1)施設視察会の開催	(A)2019年10月9日 (B)道内施設 (C)2人	(D)会員・北大学生 (E)16名	80
	○設立10周年記念事業	(A)2019年11月9日 (B)アパホテル(札幌市) (C)3人	(D)会員 (E)23人	58

(2) その他の事業

なし

2019年度 NPOバイオマス北海道 活動一覧

I. 会議等

1. 総会の開催

日時 2019年4月26日（金）

場所 北海道大学構内 百年記念会館

2. 理事会の開催

第1回 日時 2019年4月19日（金）事務局

総会議案の審議

第2回 日時 2019年5月28日（火）事務局

理事長の選任及び事務局長の指名・承認について

3. 全体会議

企画検討会 日時 2019年6月17日（月）事務局

新年度事業実務計画について

II. 事業の実施

1. バイオマス利活用を推進するための普及・啓発事業

(1) 地域を創るバイオマス利活用講座2019

第1回 2019年10月24日(金)14:15～15:15 （担当：落合）

根室振興局庁舎1階中会議室 （参加者14名）

「バイオマス利活用が地域にもたらす価値とは」

落合 知（NPOバイオマス北海道理事、北海道大学特任助教）

北海道（環境生活部環境局気候変動対策課）と共催で実施

評価・反省点

- ・根室振興局職員を中心に、周辺自治体の廃棄物行政職員と畜産関連行政職員、計14名の方々にご参加いただいた。
- ・利活用講座開催後、講座に参加頂いた根室振興局の職員の方数名が、寄附分野セミナー（北大開催）にも継続的に申込をいただいた。バイオマスに少しでも関心をもっていただけた結果ではないかと思われます。

第2回 2020年2月27日(木)13:30～17:00 （担当：落合、伊藤、阿賀）

北海道大学工学部B31講義室 （中止）

第2回目のバイオマス利活用講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施2日前の2月25日18:50に開催延期のメールを発信し、講座開催を一旦中止した。このため、ここでは企画・計画段階での評価・反省点を述べる（伊藤）

予定したプログラム：

1. 総論 ～バイオマス利活用～

落合知 氏（NPO バイオマス北海道 理事、北海道大学 特任助教）

2. 砂川地区保健衛生組合 生ごみバイオガス化施設の長寿命化工事

井谷隆志 氏（鹿島建設株式会社 北海道支店 土木プロジェクト事務所
次長）

3. 鹿追町環境保全センター 家畜ふん尿のバイオガスプラントの改修工事

中村明靖 氏（株式会社コーンズ・エージー 農機環境部バイオガスグループ
グループ長）

4. 質疑応答+全体討議

司会 阿賀 裕英 氏（北海道立総合研究機構主査 ）

①評価・反省点

- ・講演の選考は、更新時期を迎えたバイオガスプラントの改修工事をテーマに行った。決定した講演内容は数少ない貴重な事例であり、更新工事が今後増加するとみられる中では、関係者にとって非常に興味深いものであった（開催延期は大変残念である）
- ・開催日程の決定は主催側で行ったが、候補日が講演対象事業者の議会日程と重なってしまい、講師の選定に支障が生じた
- ・開催延期となり参加者数は確定できないが、開催日 2 日前の参加申込者数は 20 名で昨年参加者数の 40 名の半分であった。これは新型コロナウイルス感染予防に対する自粛が原因と予想されるが、開催時期等も原因である可能性がある

②改善点

- ・開催日の決定は、講演者との調整を計るなど柔軟な方法をとる必要がある
- ・開催日の決定は、第 1 回と第 2 回とを同時進行で行うことを検討する

<落合コメント>

- ・コロナウイルスの影響により、延期となった。今後、混乱の収束を見て、開催したいと考えております。

2. バイオマス利活用を推進するための研究開発事業

(1) 北大寄附分野バイオマスコミュニティプランニング分野との連携事業

(担当：落合、阿賀、伊藤、川嶋、)

○北大寄附分野への技術アドバイス事業（令和 2 年度予定）

<2019年度の活動>

NPO バイオマス北海道の理事を含む寄附分野メンバーが、現地視察を行った。視察先は、興部町（2019年9月）、上士幌町（2019年10月）、江別市（2020年3月）であった。

<報告と課題>

- ・実施した視察への参加者は全て寄附分野のメンバーであったことから、旅費での予算執行は行われなかった。
- ・令和2年度からは実験やヒアリング、情報収集が本格的に始まるので、NPO バイオマス北海道の皆様の御協力をお願いしたい。

- (2) 北海道バイオマスネットワーク会議 事例報告・検討会での報告
日時：2019年7月25日（木） 於：北海道大学学術交流会館
主催：北海道バイオマスネットワーク会議

3. その他バイオマス利活用を推進するために必要と認められる事業

(1) バイオマスカフェ（担当：福間）

① 実施結果

- ・第1回：2019年7月18日（木）15:30~17:15（北大工学部 MC311教室）
話題「地方にとっての森林・林業と木質バイオマスについて」
スピーカー：福間博史氏（日本データサービス株式会社）
参加者：11人
- ・第2回：2019年12月26日（木）15:30~17:15（北大工学部 MC311教室）
話題「バイオマスと水素エネルギーについて考える」
スピーカー：松井 徹氏（東京ガス株式会社）
参加者：14人

② 評価点・反省・改善点

バイオマスカフェは、当初4回を計画していた中で、7月と12月の2回実施のみとなった。実施した2回は、話題提供者の資料も多く、カフェの議論としては充実した内容となったが、その反面準備に時間がかかり、気軽に開催できるというカフェのメリットが低下してしまったと考える。

バイオマスカフェを、会員交流の場と考えるならば年2回は少なく、4回程度は開催したいと考える。NPOの活動が月1回はあると交流に継続性が感じられるため、総会や他の行事が少ない、6月~8月に複数回開催できると良いと考える。

来年度はこの反省を踏まえて、今年のような話題重視版の方式だけでなく、簡単に開催できる方式のカフェも企画をしたい。時事話題などからテーマのみを決めて、参加者間の意見交換を重視し、準備に時間をかけない場づくりを年度前半に試行したい。

(2) 会員研修

施設見学会（担当：伊藤、角田）

（実施概要）

・施設見学会は、NPOバイオマス北海道と（一社）廃棄物資源循環学会の共催により、2019年10月9日（水）に①砂川地区保健衛生組合クリーンプラザくるくる②中空知衛生施設組合リサイクリーンの2施設を視察しました。
参加者はNPOバイオマス北海道、（一社）廃棄物資源循環学会併せて29名でした。

① 評価・反省

計画から実施まで、ほぼスケジュールどおりに進行できた（下記経過参照）

6月17日 検討会議で見学場所を提案（4案）し2案に絞込む

7月18日 検討会議で見学計画（日時、場所等）を承認

8月 5日 見学場所の決定（施設の予約）

8月 8日 開催案内を全会員へメール送信

9月18日 見学施設の現地下見・打合せ

10月 9日 施設見学会の実施

2月 4日 施設見学会の報告（メールマガジン）

- ・両施設とも稼働から15年経過したバイオガスプラントであり、安定した稼働や更新工事の状況などを詳しく勉強でき、理解を深めることができた。
- ・事前に施設の下見や打合せを行ったことで、当日の施設見学会は要領良く実施できたと考えている
- ・NPOの参加人数は16名と少なかった。目標（30名）に達しなかったばかりか、これまでの実績（H29年～25名、H30年～19名）を下回った
- ・一方、廃棄物資源循環学会との共同開催であったことで、見学会全体の参加者数が35名となり盛況な見学会となった。参加者が減少する現状では共同開催は良かったと考える
- ・メールマガジンでの見学会報告を行ったが、4ヶ月後の報告となってしまった（謝意）
- ・バスの移動時間が長かったため、施設を見学する時間が短くなり施設の見学範囲が限定された（リサイクリーンはバイオガスプラントだけの見学となった）

②改善点

- ・参加者が目標より少なかったことに対する検討を行う必要がある（原因分析など）
- ・上記の観点から、見学会に観光的要素などを加えることも検討する
- ・参加者の見学会に対する評価を把握するため、見学会終了後のアンケートの実施を検討する
- ・見学時間をゆったり取れるスケジュールを検討する

(3) 市内外開催セミナーへの派遣

(以下は北大のセミナー)

- バイオマスコミュニティプランニング分野 第2回セミナー
日時：2019年7月23日（火）
於：北海道大学工学部 オープンホール
主催：北大大学院工学研究院 バイオマスコミュニティプランニング分野
- バイオマスコミュニティプランニング分野 第1回シンポジウム
日時：2019年9月9日（月）
於：全国町村会館（東京都千代田区）
主催：北大大学院工学研究院 バイオマスコミュニティプランニング分野
- バイオマスコミュニティプランニング分野 第3回セミナー
日時：2019年12月11日（水）
於：北大学術交流会館
主催：北大大学院工学研究院 バイオマスコミュニティプランニング分野
- バイオマスコミュニティプランニング分野 第4回セミナー及びバイオマスネットワークフォーラム2020
日時：2020年2月21日（金）
於：北大学術交流会館
主催：北大大学院工学研究院 バイオマスコミュニティプランニング分野及びバイオマスネットワーク会議
北海道バイオマスネットワーク会議との連携

(4) NPOバイオマス北海道設立10周年記念祝賀会（担当：渡部、石井、阿賀）

日時：2019年11月9日（土）

於：レストランSan Remo（アパホテルEXCELLENT内）

参加者 23名

記念講演1

「石狩バイオマスネットワーク研究会のエピソード
～プロローグとエピローグ」

理事 川嶋幸治氏

記念講演2

「NPOバイオマス北海道10年間を振り返って」

副理事長 石井一英氏

後援

2019年7月23日 北海道大学寄附分野バイオマスコミュニティプランニング分野
第2回セミナー
(北海道大学工学部 オープンホール)
「廃棄物・バイオマスを活用した地域における新たな価値の創造」

- 2019年9月9日 北海道大学寄附分野バイオマスコミュニティプランニング分野
第1回シンポジウム
(全国町村会館(東京都千代田区))
「バイオガス事業の未来 ～地域の循環から考える～」
- 2019年12月11日 北海道大学寄附分野バイオマスコミュニティプランニング分野
第3回セミナー
(北海道大学 学術交流会館講堂小講堂)
「バイオガス事業+ α ～複合事業から考える～」
- 2020年2月21日 北海道大学寄附分野バイオマスコミュニティプランニング分野
第4回セミナー及びバイオマスネットワークフォーラム2020
(北海道大学 学術交流会館講堂)
「地域自立分散に向けた廃棄物・バイオマス利活用事業」

講演「地域循環共生圏の創造—SDGs・脱炭素時代の地域づくり—」
講演「再生可能エネルギーによる酪農地域自立システム」
講演「乾式メタン発酵施設を利活用したバイオマス事業の新たな取組事例について」
研究進捗報告「北大寄附分野バイオマスコミュニティプランニング分野の研究進捗報告」
総合討論「地域自立分散に向けた廃棄物・バイオマス利活用事業」

2019年度 活動計算書
2019年4月1日から2020年3月31日まで
特定非営利活動法人 バイオマス北海道
(単位：円)

科目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費			
個人会員会費	71,000		71,000
企業・団体会員	390,000		390,000
			0
2 受取寄附金			
受取寄附金	0		0
3 受取助成金等			
受取助成金等	0		0
4 事業収益			
事業収益等	0		0
5 その他収益			
受取利息	17	0	17
経常収益計	461,017	0	461,017
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		0
人件費計	0	0	0
(2) その他の経費			
謝金	0		0
旅費交通費	49,950		49,950
借料	50,530		50,530
負担金	18,000		18,000
会議費	94,264		94,264
予備費	2,000		2,000
その他経費計	214,744	0	214,744
事業費計	214,744	0	214,744
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	202,000		202,000
人件費計	202,000	0	202,000
(2) その他の経費			
備品・消耗品費	0		0
交通費	18,900		18,900
通信費	7,298		7,298
会議費	13,000		13,000
予備費	10,340		10,340
その他の経費計	49,538	0	49,538
管理費計	251,538	0	251,538
経常費用計	466,282	0	466,282
当期経常増減額	△ 5,265	0	△ 5,265
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
未収会費償却	0		0
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 5,265	0	△ 5,265
前期繰越正味財産額	1,790,476	0	1,790,476
次期繰越正味財産額	1,785,211	0	1,785,211

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況
事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

	特定非営利活動に係る事業			その他の事業		事業部門計	管理部門	合計
	普及啓発・事業	研究開発事業	その他必要と認められる事業	受託事業	支援等の事業			
I 経常収益								
1. 受取会費						0	461,000	461,000
2. 受取寄付金						0	0	0
5. その他収益						0	17	17
経常収益計	0	0	0	0	0	0	461,017	461,017
II 経常費用								
1. 事業費								
(1) 人件費								
給料手当	0	0				0		0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費								
謝金	0	0				0		0
旅費交通費	0	49,950				49,950		49,950
借料		0	50,530			50,530		50,530
負担金		18,000				18,000		18,000
会議費	0	1,960	92,304			94,264		94,264
予備費	0	0	2,000			2,000		2,000
その他経費計	0	69,910	144,834	0	0	214,744	0	214,744
事業費計	0	69,910	144,834	0	0	214,744	0	214,744
2. 管理費								
(1) 人件費								
給料手当						0	202,000	202,000
人件費計	0	0	0	0	0	0	202,000	202,000
(2) その他経費								
備品・消耗品費						0	0	0
交通費						0	18,900	18,900
通信費						0	7,298	7,298
会議費						0	13,000	13,000
雑費						0	10,340	10,340
その他経費計	0	0	0	0	0	0	49,538	49,538
管理費計	0	0	0	0	0	0	251,538	251,538
経常費用計	0	69,910	144,834	0	0	214,744	251,538	466,282
当期経常増減額	0	△ 69,910	△ 144,834	0	0	△ 214,744	209,479	△ 5,265

2019年度 財産目録
2020年3月31日現在

特定非営利活動法人 バイオマス北海道
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	0		
銀行普通預金	1,790,211		
未収金			
未収金費	0		
流動資産合計		1,790,211	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,790,211
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
預り金	5,000		
流動負債合計		5,000	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			5,000
正味財産			1,785,211

2019年度 貸借対照表
2020年3月31日現在

特定非営利活動法人 バイオマス北海道
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,790,211		
流動資産合計		1,790,211	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,790,211
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	5,000		
流動負債合計		5,000	
2. 固定負債			
該当無し	0		
固定負債合計		0	
負債合計			5,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,790,476	
当期正味財産増減額		△ 5,265	
正味財産合計			1,785,211
負債及び正味財産合計			1,790,211

会計監査報告書

特定非営利活動法人バイオマス北海道定款第15条6項に基づき、本法人の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの収支決算につき関係書類、帳簿の監査を行った結果、適正であると認める。

令和2年 々月 々 日

特定非営利活動法人バイオマス北海道

監事

坂田 和則



第2号議案 2020年度

事業計画および予算

2020年度事業計画書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人バイオマス北海道

1 事業実施の方針

- (1) バイオマス利活用を推進するための普及・啓発事業
- (2) バイオマス利活用を推進するための研究開発事業
- (3) その他バイオマス利活用を推進するために必要と認められる事業

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 予定 月日	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出 見込額 (千円)
バイオマス 利活用を推 進するた めの普及・啓 発事業	○バイオマス利活用講座の開催及びITを利用した講座の公開	2020年4月1日～ 2021年3月31日まで	札幌市内1回 道内他市町村1回	20名	道内市町村担当者、関係団体等 200名	150
バイオマス 利活用を推 進するた めの研究開 発事業	○北大寄附分野バイオマスコミュニティプランニングとの連携事業 ○市町村との共同研究	2020年4月1日～ 2021年3月31日まで 2020年4月1日～ 2021年3月31日まで	道内他市町村 道内他市町村2か所程度	10名 10名	道内市町村 道内市町村担当者等 30名	500 100
	○北海道バイオマスネットワーク会議との連携事業	2020年4月1日～ 2021年3月31日まで	道内	10名	道内市町村担当者、関係団体100名	0

その他バイオマス利活用を推進するために必要と認められる事業	○イベント補助 (イベント後援など)	2020年4月1日～ 2021年3月31日まで		10名	道内市町村担当者、一般道民など 50名	0
	○メルマガの発行	2020年4月1日～ 2021年3月31日まで	北海道大学大学院 工学研究院 (札幌市)	12名	会員50名	0
	○バイオマスカフェの 開催(4回)	2020年4月1日～ 2021年3月31日まで	北海道大学大学院 工学研究院 (札幌市)	20名	会員等50名	100
	○会員研修 ①視察会(1回) ②市内開催セミナー への派遣	2020年4月1日～ 2021年3月31日まで	道内 市内	4名 20名	会員50名 会員延べ50名	150 50

2020年度 活動計算書
 2020年4月1日から2021年3月31日まで
 特定非営利活動法人 バイオマス北海道
 （単位：円）

科目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費			
個人会員会費	104,000		104,000
企業・団体会員会費	480,000		480,000
2 受取寄附金			
受取寄附金	0		0
3 受取助成金等			
受取民間助成金	0		0
4 事業収益			
事業収益等	0		0
5 その他収益			
受取利息	0		0
経常収益計	584,000	0	584,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		0
人件費計	0	0	0
(2) その他の経費			
謝金	50,000		50,000
旅費交通費	300,000		300,000
借料	100,000		100,000
負担金	450,000		450,000
会議費	150,000		150,000
予備費	100,000		100,000
その他の経費計	1,150,000	0	1,150,000
事業費計	1,150,000	0	1,150,000
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	210,000		210,000
人件費計	210,000	0	210,000
(2) その他の経費			
備品・消耗品費	10,000		10,000
通信費	10,000		10,000
交通費	30,000		30,000
会議費	150,000		150,000
予備費	50,000		50,000
その他の経費計	250,000	0	250,000
管理費計	460,000	0	460,000
経常費用計	1,610,000	0	1,610,000
当期経常増減額	△ 1,026,000	0	△ 1,026,000
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 1,026,000	0	△ 1,026,000
前期繰越正味財産額	1,785,211	0	1,785,211
次期繰越正味財産額	759,211		759,211

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	普及啓発・事業	研究開発事業	その他必要と認められる事業	受託事業	支援等の事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費						0	584,000	584,000
2. 受取寄付金						0		0
3. 受取助成金等	0					0		0
4. 事業収益	0			0	0	0		0
5. その他収益						0		0
経常収益計	0	0	0	0	0	0	584,000	584,000
II 経常費用								
1. 事業費								
(1) 人件費								
給料手当	0	0	0	0	0			
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費								
謝金	50,000	0				50,000		50,000
旅費交通費	100,000	200,000		0	0	300,000		300,000
借料	0	0	100,000			100,000		100,000
負担金	0	400,000	50,000			450,000		450,000
会議費	0	0	150,000			150,000		150,000
予備費	50,000	50,000	0			100,000		100,000
その他経費計	200,000	650,000	300,000	0	0	1,150,000	0	1,150,000
事業費計	200,000	650,000	300,000	0	0	1,150,000	0	1,150,000
2. 管理費								
(1) 人件費								
給料手当	0	0	0	0	0	0	210,000	210,000
人件費計	0	0	0	0	0	0	210,000	210,000
(2) その他経費								
備品・消耗品費						0	10,000	10,000
通信費						0	10,000	10,000
交通費							30,000	30,000
会議費							150,000	150,000
予備費						0	50,000	50,000
その他経費計	0	0	0	0	0	0	250,000	250,000
管理費計	0	0	0	0	0	0	460,000	460,000
経常費用計	200,000	650,000	300,000	0	0	1,150,000	460,000	1,610,000
当期経常増減額	△ 200,000	△ 650,000	△ 300,000	0	0	△ 1,150,000	124,000	△ 1,026,000